



佐藤 博 議員

# 結婚促進政策を考えてみて はどうか

## 問

少子化原因の検証と創造的対策について質問する。

(1) 広く市民の意見を聞いたり、多角的に調査、分析検討し、対策を考えてみてはどうか。

(2) 結婚の重要性、楽しさなどをPRし、結婚促進政策を考えてみてはどうか。

桜堤防や三ツ又池公園等へ、固有プレートを付けた結婚メモリアル植樹を奨励することも一案ではないか。  
(3) “子育てのしやすい、出生率日本一の弥富市”を新しいスローガンに、个性的なオンリーワン政策を提案したいがどうか。

## 中・長期的視野 で施策を試みる

## 答 民生部長

(1) 出生率の低下にはいろんな要因があり、心の問題として、現代社会における価値観の違いが大きいように思う。

子どもは社会の宝であるという気持ちを持ち、育てやすい環境を家庭、地域、行政の連携の下につくり上げていくことが重要である。

## 答 市長

(2) 中・長期的な視野に立つて、未婚者の減少を図るための施策を試みるのが大事だろうと思う。

21年度に(策定する)男女共同参画事業の基本計画の中に、この問題も織り込んでいきたい。

結婚に限定せず、個人、夫婦の一つの記念という形で、メモリアル植樹を具体的に考えていきたい。

# 輪中への協力が 必要ではないか

## 問

特別養護老人ホーム輪中の郷【 】について聞く。

4年6月に開所した定員80人の老人福祉施設で、社会福祉法人弥富福祉会が運営する。旧弥富町が開所業務等に携わった大藤町に位置する。

(3) 個性的なオンリーワン政策でなく、今までの施策に対し、今一度しっかりと足元を見詰めながら肉付けをしていくことが大事だろうと考えている。

# 素直に情報交換 し運営を

## 答 民生部長

(1) 医療関係者や、設立時の寄付に尽力した団体長が理事、監事として就任している。

評議員会は13年5月に設立し、区長代表、家族代表、市社会福祉協議会の理事、評議員から就任している。

## 答 市長

(2) 輪中の郷の運営が市にとっても非常にかかわり深いことは十分承知している。率直な意見、情報交換をし、運営してほしい。

(1) 現在、介護の内容や施設の運営も複雑、多様化しており、理事会の使命も重要になってきたと言える。一定の割合で、専門的知識を有する者や経験者を理事等に選任するよう基準が示されている。  
関係者だけで選任される方法ではなく、年齢制限の申し合わせをしたり、事前